

Mediant™ 1000

VoIP Media Gateway



Mediant1000の特徴

- VolPerfect 技術採用による高品質音声
- システム利用者や負荷の増大に応じて、モジュール構成の変更が可能
- 豊富なインターフェイス提供
デジタル (E1/T1/J1)、アナログ (FXS/FXO)、BRI
- 低密度ゲートウェイによるコストパフォーマンス向上
- 電源異常、ネットワーク劣化の際のPSTNへのライフライン代替機能
- 確実な接続のためのPSTN fallback 機能
- 第三者アプリケーション使用時の内部OSNサーバー
- IP-PBXのプラットフォームとして理想的な組み合わせ
- メディア処理、電話会議サービス
- サービス継続のためのStand Alone Survivability(SAS)

Mediant1000™は、コストパフォーマンスが良く、また収束速度の速い有線のVoIPメディアゲートウェイです。筐体は1Uサイズで19インチラックにちょうど収まり、企業間や小規模回線業者でTDMとIPネットワークを接続できるようデザインされています。画期的なAudioCodesのボイスオーバーパケット技術を組み入れることで、Mediant1000は製品化までの時間が早く、信頼性のあるコストパフォーマンスの高い次世代ネットワークを展開しています。Mediant1000は、VolPerfect™を基に製造されており、この技術はメディアゲートウェイの中核技術となるもので、AudioCodesのすべての製品に採用されています。また、本製品はIP-PBXからPSTNへの接続が途切れただけでなく、レガシー電話やPBXシステムをネットワークに接続する優れた音声技術を提供しています。本製品は、基本的なメディア機能に加えて、パートナーアプリケーションが使用でき、IP-PBXのプラットフォームの機能も果たします。

本製品は、マルチベンダーゲートウェイ、ソフトスイッチ、ゲートキーパー、プロキシサーバ、IPフォン、セッションボーダーコントロール、ファイアウォールとの相互利用が充分可能です。

【ビジネス成長に合わせた拡張】

Mediant1000は企業や接続サービス会社の拡張要求を満たすだけでなく、小規模なローケーションの様々な要求を満たします。コンパクトなMediant1000のモジュラーゲートウェイは大いに拡張性があり、1,2,4 spanのE1/T1/J1、4~20個のBRIポート、様々なFXO/FXSコンフィギュレーションの1~24個のアナログポートをサポートしています。

また、本製品はコンフェレンシングやプレイ/レコードコンフィギュレーションなどのメディア処理機能を用いたデジタル、アナログ混合をサポートしています。

Mediant1000は、様々な電話インターフェイスをサポートしています。デジタルモジュールは電源異常やネットワークに問題があった際、PSTNへの切り替えのためのライフラインインターフェイスとして動作する様、通常E1/T1/J1インターフェイスを1つまたは2つまでの対になったスパンとして設定できます。アナログモジュールは通常FXS、FXOインターフェイスとして利用可能で、1つのFXSラインはPSTNへの切り替えとして使用できます。

Interface Modules:

- デジタル (E1/T1/J1)
PSTNまたはPBXをIPネットワークに接続する
- アナログFXS
アナログ電話、FAX 機器をIPネットワークに接続する
- アナログFXO
セントラルオフィス (CO) またはPBXからIPネットワークにアナログ線を接続する
- BRI
複数のPBXまたはPSTNに接続する

【Stand Alone Survivability(SAS)】

中央IPセントレックスに接続する顧客、または中央IP-PBXサーバーをご使用になる企業支社はシステム継続の要件を求められることとなります。

Mediant1000でサポートされている、Stand Alone Survivability (SAS)は、SIP B2BUA (Back to Back User Agent)機能を基にしており、中央SIPサーバーとの接続ができない場合に、SIP IPやソフトフォンなどのSIPクライアントのバックアップを可能にします。

【レガシー企業ネットワークとのシームレスインターフェイス】

Mediant1000は、導入を容易にし、音質を維持するため、ハードウェアとソフトウェアの性能を強化して来ました。もし、測定された音質が最初に設定されたものより落ちることがある場合、また、接続先への道が切断されてしまう場合、Mediant1000はPSTNを頼ることにより音声の接続性を確実なものとし、ネットワークに問題が起きた場合、PBXのルート修正を要求することなく、電話はPSTNへルートバックされます。また、さらなる信頼性のために、予備イーサネットポートと予備電源が設けられています。

【第三者アプリケーションプラットフォーム】

Mediant1000は、他の製品との共存に柔軟です。Mediant1000のオープンプラットフォームは、豊富なSIPゲートウェイ機能によりMediant1000の筐体内で問題をすべて解決するため、パワフルなプロセッサやハードディスクを含むOSN (Open Solution Network) サーバープラットフォームを使用することにより、顧客に使用アプリケーション (例: IP-PBX、コールセンター、コンフェレンシング、メッセージングアプリケーションなど) の選択肢を与えています。



Corporate LANで接続された拠点へ拠点規模にあったVoIP Media Gatewayを導入し、拠点間通話のコスト削減が可能です。
また、既存PBXとの接続も可能であり、既存資産の再利用が可能です。

Mediant1000

インターフェース	
音声 インタフェース	FXS、FXO、BRI、PRI
モジュール/搭載容量	アナログ、 デジタル用モジュール:6スロット
デジタルモジュール	1、2、4 E1/T1/J1 spans 最大:4 spans
アナログモジュール	4 ports 最大:24 ports(6 モジュール)
BRIモジュール	4 ports 最大:20 ports(5 モジュール)
CPUモジュール	対応
イーサネット	10/100 Base-TX Ethernet ports via RJ-45 connector
メディア処理	
Voice Coders	G.711, G.726, G.723.1, G.729A, GSM-FR, iLBC, EG.711, Independent dynamic vocoder selection per channel
QoS	Dynamic programmable jitter buffer, VAD, CNG, 802.1p/Q VLAN tagging, DiffServ, voice quality monitoring, G.729B, RTCPXR
DTMF/MF Transport	Packet side or PSTN side detection and generation, RFC 2833 compliant DTMF relay Call Progress tones detection and generation
IP Transport	VoIP (RTP/RTCP) per IETF RFC 3550 and 3551
プロトコルタイプ	
CAS	MF-R1: T1 CAS (E&M, Loop, Start, Feature Group-D, E911CAMA), E1 CAS (R2 MFC), R1.5 numerous protocol and country variants
ISDN PRI	ETSI/EURO ISDN, ANSI NI2 and other variants (DMS100, 5ESS) QSIG (Basic and supplementary), IUA (SIGTRAN), VN3, VN4, VN6, Japan INS 1500
Analog	Loop Start, Ground Start
Call/Sec	3CPS
冗長性	
電源	対応
イーサネット	対応(2ポート)
Life Line	対応(デジタル/アナログ)
筐体仕様	
電源	100 – 240 V AC/50 – 60 Hz
寸法	44 x 445(483: 止め具含む) x 351 mm 1U high、19-inch wide
重量	5kg

NXTG

国内総代理店

株式会社ネクステージ

ICT事業部 営業部

担当 : 飯田

ac_sales@nxtg.co.jp

TEL 03-5695-7077

FAX 03-5695-7078